

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	大師公園	評価対象年度	平成28年度
事業者名	事業者名 公益財団法人川崎市公園緑地協会 代表者名 理事長 大谷 雄二 篠田 隆志(平成28年6月9日まで) 碓 親二(平成25年6月6日まで) 住 所 川崎市中原区等々力3番12号	評価者	管理課長
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日	所管課	川崎区役所道路公園センター管理課

2. 事業実績

利用実績	大師公園は、川崎大師平間寺に隣接する地区公園である。園内の藩秀園や芝生広場等での各種催物は、ほぼ前年度並みで、163件(前年度171件)の催物を実施されている。 芝生広場は年間を通じて、保育園児や市内小学校児童の遠足や校外学習、TVCM撮影、緑陰広場は各種イベント会場として利用された。外周通路は、近隣住民のウォーキングコースとして、多くの方々に利用されており、祝日や休日には、多くの市民の皆さんの憩いの場として利用されている。 特に、有料施設であるテニスコートは人気があり、利用者数は、年間13,922人(前年度13,896人)の利用があった。
収支実績	平成28年度の収入は、指定管理事業収入38,468,571円、自主事業収入1,048,984円及びその他の収入55円の内計39,517,610円である。支出は、事業費12,922,076円、管理費25,786,497円、計38,708,573円であり、当期収支差額は809,037円であった。 給与・賃金・福利厚生費からなる管理費は、予算ベースより214,503円少ない25,786,497円、事業費支出は、予算ベースより495,924円少ない12,922,076円の執行額となり、それぞれがほぼ予算ベース並みであり、良好な運営が図られていた。
サービス向上の取組	公園利用の促進と地域の活性化を図ることを目的に、「藩秀園での野外ライブコンサート」「サマーフェスタでのスタンブラー」等のイベントを実施、ボランティアによる園内清掃や地元町内会及び小学生等による花壇草花の植替えを行うなど、各年齢層の方々を利用する公園として、コミュニティーの拠点となるよう、市民参加による公園づくりが推進された。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者のニーズ等を捉えるための具体的方策を実施しているか	12	3	7.2
		利用者ニーズ等を適切に分析しているか			
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
	事業成果	事業実施における自己評価を行っているか	8	3	4.8
当初の事業目的を達成することができたか					
(評価の理由) 利用者からの意見・要望・苦情等については、市長への手紙(1件)、サンキューコール(1件)、アンケート(16件)を収集し、公園の運営管理に活用されている。また、公園内における事件・事故等については年間5件発生しているが、その都度適正な処理を実施したため、管理上の問題も発生せず、通年の維持管理が計画どおりに実施されていた。					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	9	3	5.4
		支出に見合う事業が行われているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	適切な金銭管理・会計手続	指定管理経費とその他業務に係る経費を区分し、適切に管理しているか	3	3	1.8
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか		3	3	1.8	
(評価の理由) 管理費は、予算額より214,503円少ない、ほぼ予算ベース並みの25,786,497円の執行額であった。また、年度当初に計画されていた樹木剪定委託、秀湖清掃委託、産廃ゴミ分別委託等に加えて、花壇整備等が実施され、効率的な事業費の執行が図られていた。また、自動販売機での収入を活用した自主事業としては、花と緑の園芸相談の開催、花壇草花の植替え等が実施された。特に180名の参加があった青空園芸教室の実施や障害者・高齢者用車椅子を新規購入し管理事務所ロビーに設置するなど、公園の利用促進が図られた。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	9	3	5.4
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	業務の遂行にあたって、現状分析、課題把握に取り組んでいるか	9	3	5.4
		業務改善が必要な場合に、改善策の検討と実施が行われているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	9	3	5.4
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
(評価の理由) 園内の緑化推進・利用促進を図ることを目的に、近隣の大師小学校、近隣町内会及び園内清掃ボランティアと協働で緑陰広場花壇・ブール外周花壇・駐車場横花壇等10箇所の花壇に、草花の植替えが実施されていた。 また、園内清掃は、常時7～9名のボランティアとの協働により、年末年始を除く毎週月曜日・水曜日・金曜日の午前9時30分から約2時間、指定管理者の指導の下で、公園内の清掃作業を中心に園内除草や花壇の草花の植替えが継続的に実施されており、適切なサービスの提供へと繋がっている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	6	3	3.6
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	4	3	2.4
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修・会議等が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築しているか	4	3	2.4
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか			
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	4	3	2.4
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか			
(評価の理由) 公園管理に精通した職員の配置により、有料施設の受付業務や施設維持管理業務について、適切な運営が実施されている。また、事故や災害への対応については、警察、消防等の関係機関との連携が図られ、的確に処理がなされていた。個人情報保護等についても、法令が遵守されており、業務は問題なく遂行されていることが認められる。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	3	3.6
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか			
	清掃業務	施設内の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	6	3	3.6
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	植栽管理	植栽等の維持管理を適切に実施しているか	6	3	3.6
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
(評価の理由) 業務の実施状況については、毎月の事業報告書にある有料施設利用実績表、維持管理実績表等を確認し、施設の保守管理についても計画どおりに実施されていることを確認しており、安全な利用に支障をきたすことはなかった。また、清掃業務についても、計画どおりに実施され、快適に利用できる環境が維持されており、植栽管理についても計画どおりに実施されていることを確認した。					

4. 総合評価

評価点合計	60.0	評価ランク	C
-------	------	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

昨年度に引き続き、4月に実施された青空園芸教室及び花と緑の園芸教室に180名余りの参加があり、市民の方々に草花等への関心を高めることで、市街地等への緑化推進が図られた。

また、10月実施の瀟秀園を利用した野外ライブコンサートは、天候には恵まれなかったが91名の入場があり、多くの集客数を果たしたイベントの開催となり、公園の利用促進が図られた。

清掃をはじめ各種業務については、業務日誌や点検記録簿等で確認したところ、計画どおりの業務が実施されており、また、施設の維持管理についても、指定管理者業務仕様書の水準を満たしていることが確認できた。

特にボランティアとの協働による園内清掃については、年間を通じ継続的に実施されており、公園利用者への快適・適切なサービスの提供へと繋がっている。

また、収支実績も適正に執行されており、当初の事業目的が達成されている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

各種催し物等を通じ、多くの利用者の方々に公園の利用促進が図られたが、催し物時に限らず、恒常的に質の高いサービスを市民に平等に提供できることが必要である。

次年度の管理者には、モニタリングやアンケート等を十分に実施し、利用者の要望を踏まえ、更なる市民サービスの向上に繋がる事業執行のノウハウや会計処理に関し、管理の一層の効率化を図るなかで、経費の削減が見込まれる取組み等について期待する。